



Photo: ©SEEDS

SEEDS' #NepalQuake Response

SEEDS Asiaネパール地震緊急支援 帰国報告会 支援活動と今後の取り組み

ネパールで活動しているスタッフの帰国に伴い、ネパールの現状についてお知らせするため、帰国報告会を開催します。
お誘い合わせの上ご参加ください。

- 日 時：2015年6月1日（月）
18:00～19:30
- 会 場：BBプラザ シマブンホール
神戸市灘区岩屋中町4-2-7
シマブンビル4階

➢ プログラム：

- ✓ 現地状況と支援活動報告
- ✓ 学校支援ニーズとSEEDS Asiaの取組
- ✓ 質疑応答

➢ 参加定員：100名



会場へのアクセス

- 阪神
岩屋駅改札を出てすぐ南側
- JR
灘駅より南へ徒歩約3分
- 阪急
王子公園駅より南へ徒歩約10分



主 催：NPO法人SEEDS Asia
〒651-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本2-11-21-401
Tel: 078-766-9412 Fax 078-766-9413
Mail: rep@seedsasia.org www.seedsasia.org

後 援：特定非営利活動法人ジャパンプラットフォーム
株式会社シマブンコーポレーション

SEEDS Asiaネパール地震緊急支援 帰国報告会 支援活動と今後の取り組み

2015年4月25日にネパールで発生した巨大地震は、死者8,000人以上、全壊半壊の家屋542,000棟以上(5月13日現在)の甚大な被害を及ぼしました。

建物の8割が倒壊した地域もあり、屋外での避難生活を強いられる住民が多数発生。国連が4月29日に出した緊急アピールでは、500,000世帯に対して緊急的に生活ができる場所と生活のための物資の支援が急務となりました。

5月の日中の気温は30度近くなりますが、夜は15度程度まで下がることもあり、さらに、6月頃からの雨季に先んじて雨の降る日もあり、衛生・安全の観点からも、丈夫な防水シートやテントや生活用品を山間遠隔地にも確実に届ける必要があります。

SEEDS Asiaでは、地震発生直後より、迅速に人道支援の必要性について検討し、緊急支援実施を決定。

4月29日に、インドよりSEEDSスタッフがネパールに入って緊急ニーズ調査を行い、5月15日からは日本からもスタッフを派遣して、支援活動を実施。

ジャパン・プラットフォームの助成や皆様からのご寄付により、防水シート、テント、調理器具、トイレ用品等の衛生セット、寝具等を被災者に届ける活動を行っています。

なお、ユニセフの報告では、2万4千の教室が地震により倒壊し、代替スペースが確保されないと95万人の子どもが学校に戻れないとされています。

ネパール政府は5月15日を学校の再開日としましたが、多くの被災地では、安全な場所で子ども達が授業を受けられる環境にありません。

そこで、支援物資の配布に並行して、学校への支援可能性の調査も行い、今後の支援活動の計画を練っています。

ネパールで活動するスタッフの帰国に伴い、緊急支援活動にご支援頂いた方、さらにより多くの方々にネパールの現状についてお知らせするため、帰国報告会を開催しますので、お誘い合わせの上ご参加ください。



参加の申込先: NPO法人SEEDS Asia
(5月29日までに、電話もしくはメールにて申込願います)

〒651-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本2-11-21-401
Tel: 078-766-9412 Mail: rep@seedsasia.org
(担当: 津田)